



KEIHIN PE24 キャブレターキット 取扱説明書

商品番号 : 03 05 071 (キャブレターキット)
: 03 02 030 (マニホールドキット)
適応車種 : モンキー・ゴリラ
フレーム番号 : Z50J-1300017 ~

- ・この度は、タケガワ商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
 - ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
- イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当キャブレターキットには、エアフィルター等が付いておりません（STDエアクリーナーの取り付けも出来ません）のでエンジン内部に水分が入り込んだ場合エンジン不調の原因となりますので雨天中の走行はなさないで下さい。又、洗浄時等はキャブレターに水が掛からないようビニール等で覆って下さい。

この製品は当社レギュラーヘッドボアアップキット（85cc・88cc）取り付け車専用となっております。ノーマルエンジン及び他の車種には使用しないで下さい。

車体番号Z50J-1300017～1510400までの車両は、スロットルバルブが全開にならないため、スロットルパイプの加工が必要となります。

エアフィルター・エアファンネルはオプションパーツとして設定しています。使用目的に見合った物をお選び下さい。

PE24キャブレターをゴリラに使用の場合、チョークレバーとフューエルコックが干渉します。このため、チョークレバーを取り外すか別売の90°振りタイプ-型フューエルコック（03-03-001）をご使用下さい。

チョークレバーがPULL式の場合は除く。



注意

この内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）



警告

この内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

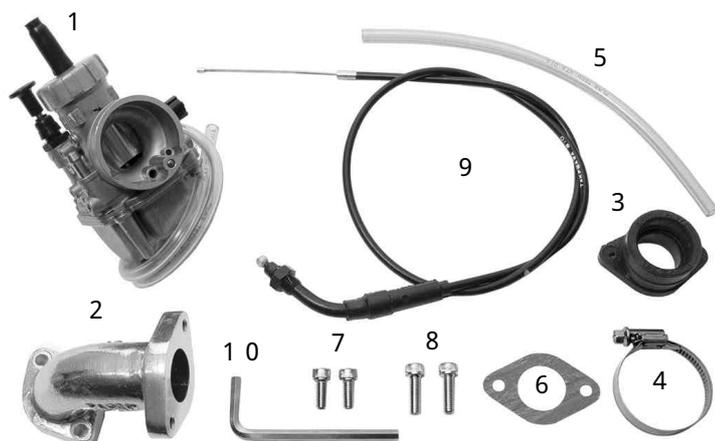
- ・走行前には、必ず各部の取り付け状態を点検し、緩み、ガソリンの漏れ等がないかを確認して下さい。又、走行中異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ異常箇所の点検を行ってください。（そのまま、走行すると事故につながる恐れがあります。）
- ・エンジンを始動する場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所ではエンジンをかけないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- ・取り付け作業は、車両を安定させた状態で行ってください。（車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- ・ガソリンは非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は爆発等の危険性がある為、換気の良い場所で作業を行ってください。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

~ 商 品 内 容 ~



番号	部 品 名	個数
1	キャブレターASSY.	1
2	インレットパイプ	1
3	インシュレーター	1
4	インシュレーターバンド	1
5	フューエルチューブ 250mm	1
6	インレットパイプガスケット	1
7	ソケットキャップスクリュー 6×15	2
8	ソケットキャップスクリュー 6×20	2
9	スロットルケーブルCOMP.	1
10	6角棒スパナ 5mm	1

印は、マニホールキットの内容を示しています。

~ 取 り 付 け 要 領 ~

- 平坦で足場のしっかりした場所に車両を安定させます。ガソリンの受け皿を用意し、フューエルコックを閉じます。キャブレターのドレンコックを開いてフロートチャンパー内のガソリンを受け皿に抜き取ります。
- フューエルタンクよりフューエルホースを取り外します。エアクリーナーケース固定ボルト及びインレットパイプ固定ボルトをそれぞれ抜き取ったキャブレターをクリーナー付きで外します。(インテークポートに異物が入らない様に注意して下さい)
- キャブレターのトップカバーを緩め、スロットルバルブを抜き取ります。スプリングを圧縮しながらスロットルケーブルを外します。スロットルケーブルに残っているトップカバーを外します。
- スロットルケーブルのロックナットを緩めておき、ハウジング取り付けスクリュー2本を取り外し、スロットルハウジングを分割します。スロットルパイプからインナーケーブルを外し、アンターハウジングからスロットルケーブルを取り外します。
- アンダースロットルハウジングに付属のスロットルケーブルを仮締めし、インナーケーブルをスロットルパイプに取り付けます。スロットルパイプ摺動面にグリースを塗布し、スロットルパイプを差し込みます。スロットルハウジングを取り付けスクリューを指定トルクで締め付けます。(ハウジング前側のスクリューを先に締め付けて下さい。)
- インレットパイプにキャップボルトでインシュレーターを取り付けボルトを指定トルクで締め付けます。インレットパイプをシリンダーヘッドに取り付けキャップスクリューを指定トルクで締め付けます。
- PE24キャブレターのトップカバーを外して、スプリング、スロットルバルブを抜き取ります。スロットルケーブルに無理が掛からない様に取り返し、トップカバーを取り付けスプリングを入れてスロットルバルブをインナーケーブルに取り付けます。スロットルパイプの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせてキャブレターに取り付けます。
- キャブレターをインシュレーターに差し込みバンドを締め付けます。スロットルグリップ部で5mm程度の遊びが出来る様にスロットルケーブルのアジャスターを調整します。ステアリングを左右いっぱいに切った状態でスロットルケーブルに遊びがある事を確認して下さい。
- スロットルを数回スナップさせ引っかけりやスロットルバルブの全開状態を確認します。
- フューエルチューブを差し込みチューブクリップを取り付けます。フューエルコックを開き各部からのガソリン漏れの有無を点検します。(コックを開いたまま長時間放置しないで下さい。)
- チョークレバーを引きエンジンを始動をさせます。チョークレバーを徐々に戻し、回転がスムーズになるまで暖機運転を行いチョークレバーを完全に戻します。エンジン暖機後アイドル回転数が高い場合や、アイドル回転数が低い場合は、スロットルストップスクリューで調整します。
- 安全な場所で十分注意し、中~高速時のセッティングを行います。

締め付けトルク ソケットキャップスクリュー 10N・m (1.0kgf・m)

スタンダードセッティング

メインジェット	# 108
スロージェット	# 48
ジェットニードル	36S
クリップポジション	3段目
スロットルバルブ	1SC
カッターウェイ	# 3.0
エアースクリューオープニング	1 1/2

エンジン仕様

エンジン	レギュラーヘッドボアアップ 85cc / 88cc
カムシャフト	スーパーストリートカムシャフト
マフラー	ボンバー、Neo、ストリートダウン、Twin
イグニッションコイル	アウターローターC.D.I. / ノーマルC.D.I.
スパークプラグ	NGK : CR7HSA、CR8HSA DENSO : U22FSR U、U24FSR U

株式会社 **SPECIAL PARTS 武川**

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857
URL <http://www.takegawa.co.jp>

キャブレターセッティング要領

- ・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの2つの原因に絞られます。
- ・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
<ul style="list-style-type: none"> ・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。(黒い) ・プラグが黒くくすぶる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。(息付きをおこす) ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

ジェットニードル (スロットル開度 1 / 4 3 / 4)

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか

- ・息付きをする場合、濃くして下さい。
- ・回転の上がりが高く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。

この開度での混合比は、Eリングを入れる溝の段数で調整出来ます。Eリング位置が1段目から5段目へ下がるにつれ混合気は濃くなります。



メインジェット (スロットル開度 3 / 4 4 / 4)

この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。仕様等を考慮の上、最高回転数(最高速度)の得られる物を選んで下さい。

パイロットジェット (調整前にはまずエアスクリューを調整して下さい。)

- ・エアスクリューの戻し量 3 .0 回転以上の場合、パイロットジェットを小さくして下さい。
- ・エアスクリューが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。
- パイロットジェットはアイドルリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
- ・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。(アイドル回転時)
- ・排気濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。(アイドル回転時)
- ・パイロットジェット交換時には、エアスクリューの再調整が必要です。

エアスクリュー

エアスクリューはスロー系の空気流量を調整します。(アイドルリング時)

- ・エアスクリューを右に回す 混合気が濃くなる。
- ・エアスクリューを左に回す 混合気が薄くなる。

標準戻し回転数(1.5回転)に合わせ、左右に1/4 1/2回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

- ・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
- ・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
- ・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 **SPECIAL PARTS 武川** 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
 TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
 お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857